

疾患名                            転移性乳癌

No.060

プロトコール名                            ナベルピン単独療法

- 進行・再発癌                   術後補助化学療法                   術前補助化学療法  
 大量化学療法                   局所療法                   その他(                  )

投与順	抗癌剤名(商品名・略号)	1日投与量	投与法	投与時間	投与日(d1, d8等)
1	ビンレルピン(ナベルピン・VNB)	25mg/m <sup>2</sup>	div	5分以内	d1, 8
2					
3					

1コース期間 (次コースまでの標準期間)	3週間(2投1休)
総コース数	可能な限り
コース間での休薬の規定	白血球数2,000/mm <sup>3</sup> 未満の場合は、回復するまで延期

減量規定・中止基準	(2コース目以降) 好中球の減少を疑う所見のある場合20mg/m <sup>2</sup> に減量する
投与量の増量規定	なし
投与期間の短縮規定	なし
コースによる変化	なし
1日の中での抗癌剤投与順	なし
プレメディケーション・ポストメディケーション	ポストメディケーション ナベルピン投与後は補液等により薬液を十分洗い流すこと

患者条件(初回)

- ・PS 0~2
- ・本剤の投与を行う場合には、アントラサイクリン系抗悪性腫瘍剤及びタキサン系抗悪性腫瘍剤による化学療法後の増悪若しくは再発例を対象とすること。

除外規定

- ・PS 3以上
- ・骨髄機能低下の著しい患者
- ・重篤な感染症を合併している患者
- ・本剤及び他のビンカルカロイド系抗悪性腫瘍剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者

実施上の注意点

- ・薬液が血管外に漏れた場合に硬結・壊死を起こすことがあるので、注意し投与する。
- ・ナベルピンは血管痛、静脈炎を起こすことがあるので、投与後は補液等により薬液を十分洗い流すこと。  
(慎重投与)
- ・75歳以上の高齢者
- ・間質性肺炎の既往歴のある患者